



湾岸・アラビア半島地域ニュース

サウジアラビア：サウジ治安情勢・ナーフ内相発言（10月12 13日付サウジ国営通信）

12日及び13日付サウジ国営通信は、12日、第二回アラブ検事総長会議開会式に出席したナーフ内相の発言等伝えている。概要以下の通り。

1. 第二回アラブ検事総長会議を主催するのは、アブドゥラー国王がアラブ連盟諸国間における関係強化と調査・検察機関の活動活発化を願っていることの表れである。この時代における文化的、社会的、経済的な変化とそれに伴う不定的な影響と治安問題のために、調査機関・検察組織との協力・協調のためにより良い方法を探していく必要がある。
2. 組織犯罪や国境を越えた犯罪への対策、犯罪者や宗教・法・秩序に対する無法者の引渡しのための国際的条約を促進するために、アラブ間の協力が重要。
3. アブドゥラー国王とスルタン皇太子は、世界のほかの国家と同様にアラブ諸国においても安全と安定を促進するため、アラブ間協力の強化に熱心である。アブドゥラー国王が提案した「国際テロ対策センター」が設立され、その目的が達成されることを希望する。同センター設立については、国連が鍵を握っており、国連だけがセンター設立の日程を決める正当な機関である。
4. サウジ国内では間もなくテロリストに対する裁判が開始される。テロリスト裁判所裁判長は司法相により選出される。検察当局は、テロ問題に関する他の複数の機関にかわって、訴追の手続きに責任を持っている。サウジの治安に対するアル・カーイダの脅威は、依然として存在する。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799